

授業改善プラン

特別支援教科（ 音楽 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
全学年	知識・技能	表現の幅をさらに広げ、くりかえし練習をすることで自信をもって演奏できるようにする。	表現する活動に意欲的に取り組んでいる。個人で声量の差がある。技能を習得するまでが速く、範唱や手本を聴いて自己表現ができる。	範唱や手本を聴いて学ぶ時間を増やす。 くりかえし練習をして技能を伸ばす。		
	思考力・判断力 表現力	自分自身で考え、表現を工夫する力を少しずつ身に付けたい。	アドバイスをすると、表現を工夫しようとする姿勢が見られる。	発問を工夫し、表現の方法を自分自身で考えられるように促す。		
	主体的に学習に取り組む態度	発言をする生徒が偏ってしまうことがある。より主体的な活動になるように、意見を発表する活動を増やす。	音楽が好きな生徒が多い。楽器に親しみ体験する活動や歌唱活動に意欲的に取り組んでいた。	より主体的な活動になるように、意見を発表する活動を増やす。		

カリキュラムマネジメントの視点から

特別支援学級担当と生徒情報を共有しながら授業を進める。他教科と関連性のある単元の指導方法について、教科担当と情報交換を行う。